



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月9日  
上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社  
コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 佐藤 慎次郎  
問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 大曲 昌夫 TEL 03-6742-8550  
四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	284,610	16.1	47,899	21.7	46,971	53.5	32,967	61.4
29年3月期第2四半期	245,110	△5.4	39,370	0.7	30,601	△14.4	20,423	△24.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 45,899百万円 (-%) 29年3月期第2四半期 △26,328百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	93.66	87.17
29年3月期第2四半期	56.27	52.49

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	1,073,486	527,965	49.1	1,498.35
29年3月期	1,021,405	489,554	47.9	1,389.70

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 527,408百万円 29年3月期 489,145百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
30年3月期	—	23.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日（平成29年11月9日）公表いたしました「剰余金の配当（第2四半期末配当）および配当予想の増額修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	575,000	11.8	82,000	7.1	79,500	16.0	53,000	△2.3	150.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

・下期想定レート；1ドル=110円、1ユーロ=120円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	379,760,520株	29年3月期	379,760,520株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	27,767,801株	29年3月期	27,781,520株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	351,985,990株	29年3月期2Q	362,969,363株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(表示方法の変更) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）における医療市場では、先進国を中心に医療費抑制が進められる中、米国で無保険者の解消などを目的として導入された医療保険制度改革法の見直しに向けて議論が進められました。日本では、財源の重点的・効率的な配分を目的として、医薬品・医療機器の費用対効果評価の導入に向けた検討が行われました。

このような環境の下、当社グループでは、「日本発のグローバル企業」として、トータルクオリティ（製品・供給・サービスなどを含めたトータルな質）においてワールドクラスの信頼を獲得し、世界の医療現場からトップブランドとして信頼されるメーカーとなることを中長期ビジョンとして掲げ、経営を推進しております。

当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりであります。

<売上高>

売上高は、前年同期比16.1%増の2,846億円となりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
売上高	245,110	284,610	16.1	11.8
売上総利益	134,974	159,713	18.3	14.9
営業利益	39,370	47,899	21.7	20.2
経常利益	30,601	46,971	53.5	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	20,423	32,967	61.4	—

(単位：百万円)

地域別売上高	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
日本	91,803	92,502	0.8	0.8
欧州	45,451	55,336	21.7	14.4
米州	64,652	83,629	29.4	21.9
アジア他	43,203	53,141	23.0	17.2
海外計	153,306	192,107	25.3	18.3
合計	245,110	284,610	16.1	11.8

日本では、心臓血管カンパニーのTIS（カテーテル）事業で、止血デバイスを含むアクセスデバイスや超音波画像診断装置「VISICUBE」（ビジキューブ）、血管内超音波カテーテル「AltaView」（アルタビュー）などの販売が好調に推移しました。ホスピタルカンパニー、血液システムカンパニーは減収となりましたが、心臓血管カンパニーの売上増により、日本全体では増収となりました。

海外では、心臓血管カンパニーのTIS事業で、止血デバイスを含むアクセスデバイスや薬剤溶出型冠動脈ステント「Ultimaster」（アルチマスター）の販売が好調に推移しました。また、ニューロバスキュラー（脳血管）事業も脳動脈瘤治療用コイルなどの販売が好調に推移し、売上を大きく伸ばしました。さらに血液システムカンパニーでも、血液センター向け及びアフエレンシス治療分野の売上が伸長し、海外全体で増収となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、主に収益性の高い心臓血管カンパニーの売上拡大により、前年同期比18.3%増の1,597億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、販売費及び一般管理費の増加を売上総利益の増加により吸収し、前年同期比21.7%増の479億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、営業利益の増加に加えて、前年同期の為替差損に対し当第2四半期連結累計期間は為替差益を計上したこともあり、前年同期比53.5%増の470億円となりました。

<親会社株主に帰属する四半期純利益>

親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加に加えて税負担率の軽減もあり、前年同期比61.4%増の330億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
心臓血管カンパニー	売上高	121,540	157,572	29.6	23.6
	(日本)	24,500	26,365	7.6	7.6
	(海外)	97,039	131,206	35.2	27.6
ホスピタルカンパニー	売上高	78,242	77,705	△0.7	△1.9
	(日本)	61,485	60,651	△1.4	△1.4
	(海外)	16,756	17,053	1.8	△3.9
血液システムカンパニー	売上高	45,227	49,214	8.8	3.6
	(日本)	5,717	5,378	△5.9	△5.9
	(海外)	39,510	43,835	10.9	4.9

<心臓血管カンパニー>

日本では、TIS事業で、止血デバイスを含むアクセスデバイスや超音波画像診断装置「VISICUBE」、血管内超音波カテーテル「AltaView」などの販売が好調に推移し、増収となりました。

海外では、TIS事業で、止血デバイスを含むアクセスデバイスや薬剤溶出型冠動脈ステント「Ultimaster」の販売が好調に推移しました。また、ニューロバスキュラー事業では、ハイドロゲルを使用した脳動脈瘤治療用コイルや吸引カテーテルの販売が好調に推移しました。CV事業も人工肺の販売が好調に推移し、売上を伸ばしました。その結果、海外全体で大幅な増収となりました。

心臓血管カンパニーの売上高は前年同期比29.6%増の1,576億円となりました。

<ホスピタルカンパニー>

日本では、第2四半期以降、クローズド（閉鎖式）輸液システムなどの輸液ラインや、輸液ポンプ・シリンジポンプの販売が回復基調となりました。しかし、第1四半期における医療器製品での代理店の在庫調整や輸液ポンプ・シリンジポンプの買い控えに加えて、医薬品及びヘルスケア分野の製品において、収益性改善を目的とした供給終了やアカウント整理を実施した影響もあり、ホスピタルカンパニーの売上高は前年同期比0.7%減の777億円となりました。

<血液システムカンパニー>

中南米やアジアで血液センター向け製品の販売が堅調に推移しました。また、北米を中心にアフレスシス治療分野の売上も伸長しました。

その結果、血液システムカンパニーの売上高は前年同期比8.8%増の492億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ521億円増加して10,735億円となりました。

流動資産は現金及び預金の増加等により、572億円増加して4,064億円となりました。

固定資産は46億円減少して6,635億円となりました。有形固定資産は52億円増加、無形固定資産は99億円減少、投資その他の資産は2億円増加となりました。

(負債)

負債の部は137億円増加して5,455億円となりました。

流動負債は短期借入金の返済等により、1,256億円減少して1,228億円となりました。

固定負債は長期借入の実行等により、1,392億円増加して4,227億円となりました。

(純資産)

純資産の部は、384億円増加して5,280億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.2ポイント増加し、49.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月19日に「2018年3月期第2四半期累計連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しましたとおり、ハリケーン「マリア」の影響を受け、止血デバイスの生産を担う子会社テルモプエルトリコ社が、平成29年9月20日以降、生産活動を停止しております。本災害による第3四半期以降の影響額は引き続き精査中ですが、現時点では、その影響を踏まえても通期連結業績予想は達成する見通しのため、予想数値の修正はしていません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	105,388	146,261
受取手形及び売掛金	109,508	116,117
商品及び製品	69,765	76,646
仕掛品	9,367	10,055
原材料及び貯蔵品	27,579	29,022
繰延税金資産	17,501	17,868
その他	11,503	11,912
貸倒引当金	△1,430	△1,494
流動資産合計	349,183	406,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,310	71,647
機械装置及び運搬具（純額）	53,359	53,922
土地	22,471	22,503
リース資産（純額）	1,780	1,736
建設仮勘定	30,445	27,025
その他（純額）	11,754	11,461
有形固定資産合計	183,122	188,296
無形固定資産		
のれん	217,334	211,621
顧客関連資産	85,338	82,695
技術資産	105,581	102,303
その他	46,463	48,161
無形固定資産合計	454,717	444,782
投資その他の資産		
投資有価証券	12,463	12,523
繰延税金資産	6,727	5,469
退職給付に係る資産	757	643
その他	10,263	11,768
投資その他の資産合計	30,212	30,404
固定資産合計	668,052	663,483
繰延資産		
繰延資産合計	4,169	3,613
資産合計	1,021,405	1,073,486

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,451	36,695
短期借入金	120,000	—
1年内返済予定の長期借入金	7,853	7,891
リース債務	231	126
未払法人税等	9,688	13,466
繰延税金負債	23	64
賞与引当金	6,317	6,000
役員賞与引当金	190	95
設備関係支払手形及び未払金	7,059	6,833
資産除去債務	72	—
その他	58,502	51,653
流動負債合計	248,389	122,827
固定負債		
社債	30,000	50,000
転換社債型新株予約権付社債	100,135	100,110
長期借入金	80,578	200,489
リース債務	230	242
繰延税金負債	47,501	46,742
役員退職慰労引当金	14	3
退職給付に係る負債	6,803	6,459
資産除去債務	84	86
その他	18,113	18,558
固定負債合計	283,462	422,693
負債合計	531,851	545,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	50,928	50,930
利益剰余金	459,261	484,484
自己株式	△108,225	△108,172
株主資本合計	440,680	465,958
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,706	2,010
繰延ヘッジ損益	△560	△38
為替換算調整勘定	56,257	67,536
退職給付に係る調整累計額	△8,938	△8,058
その他の包括利益累計額合計	48,464	61,450
新株予約権	307	379
非支配株主持分	101	177
純資産合計	489,554	527,965
負債純資産合計	1,021,405	1,073,486



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	245,110	284,610
売上原価	110,135	124,897
売上総利益	134,974	159,713
販売費及び一般管理費	95,604	111,813
営業利益	39,370	47,899
営業外収益		
受取利息	247	309
受取配当金	151	61
受取ロイヤリティー	82	59
為替差益	—	370
その他	519	651
営業外収益合計	1,001	1,452
営業外費用		
支払利息	593	524
売上割引	223	216
為替差損	6,595	—
持分法による投資損失	304	293
たな卸資産処分損	701	4
開業費償却	555	555
その他	797	785
営業外費用合計	9,770	2,381
経常利益	30,601	46,971
特別利益		
固定資産売却益	25	10
補助金収入	—	154
債務勘定整理益	—	555
特別利益合計	25	720
特別損失		
固定資産処分損	115	75
事業再編損	—	127
特別損失合計	115	203
税金等調整前四半期純利益	30,511	47,488
法人税、住民税及び事業税	9,460	14,934
法人税等調整額	675	△357
法人税等合計	10,135	14,577
四半期純利益	20,376	32,911
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△47	△55
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,423	32,967

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）
四半期純利益	20,376	32,911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,986	304
繰延ヘッジ損益	△4	523
為替換算調整勘定	△44,302	11,281
退職給付に係る調整額	1,593	880
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△1
その他の包括利益合計	△46,704	12,987
四半期包括利益	△26,328	45,899
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,276	45,953
非支配株主に係る四半期包括利益	△51	△53

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

従来、一部の生産子会社では、間接部門の人件費等の諸費用を販売費及び一般管理費として表示しておりましたが、前連結会計年度より売上原価として表示する方法に変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、販売費及び一般管理費に表示していた1,033百万円を売上原価に組替えております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	121,540	78,242	45,227	245,010	100	245,110
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	121,540	78,242	45,227	245,010	100	245,110
のれん等償却除くセグ メント利益	33,006	11,229	6,493	50,729	△2,176	48,552
セグメント利益又は損 失 (△)	31,856	11,229	△1,538	41,547	△2,176	39,370
のれん等償却除くセグ メント利益率 (%)	27.2	14.4	14.4	20.7	—	19.8

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

1) 外部顧客への売上高の調整額100百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入であります。

2) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△2,176百万円には、たな卸資産の調整額975百万円、その他△3,152百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「心臓血管カンパニー」セグメントにおいてSequent Medical, Inc. を買収しました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては21,492百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	157,572	77,705	49,214	284,491	119	284,610
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	157,572	77,705	49,214	284,491	119	284,610
のれん等償却除くセグ メント利益	41,038	13,524	7,771	62,334	35	62,369
セグメント利益又は損 失 (△)	34,999	13,524	△658	47,864	35	47,899
のれん等償却除くセグ メント利益率 (%)	26.0	17.4	15.8	21.9	—	21.9

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- 1) 外部顧客への売上高の調整額119百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入であります。
  - 2) セグメント利益又は損失 (△) の調整額35百万円には、たな卸資産の調整額353百万円、その他△318百万円が含まれております。
2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。